

2014年4月28日に開催された、第100回社会保険審議会介護給付費分科会で、地域包括ケアシステムの図の中に「はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師」が明記された。在宅医と連携している、ティートリー成城鍼灸院(東京都世田谷区)の瀧澤雄一郎院長に鍼灸師の在り方を聞いた。

在宅医と連携強化

鍼灸師が包括ケアの一助に



ティートリー
成城鍼灸院
瀧澤雄一郎院長

――鍼灸の役割がまだ浸透していないと感じるがその要因は。
瀧澤 鍼灸には主に西洋医学・東洋医学・中医学の3つの考え方があります。このように独特の形態であり、経験則から治療が成り立っている部分もあるため、医師からは「良くわからない存在」と思われていると感じています。

――鍼灸の地位向上のために。
瀧澤 この現状を打破するためにはエビデンスを集めて治療効果の検証を行い、成果を発表していく必要があります。最近では、客観的に治療効果を評価する論文が鍼灸分野でも増えてきたと感じます。痛みではなく日常生活動作の改善で評価することが大切です。



訪問診療に向かう様子

未病ケアにも期待

――在宅医との連携は。
瀧澤 当院は外来患者4割、在宅患者6割です。初回訪問は在宅医に同席するケースもありますが、それ以外は治療に30分〜1時間を要するので在宅医とは別の日に、容態にもよりますが週に1回程度訪問します。治療に使う道具が少なく靴1つで訪問できるフットワークが強みです。在宅医よりも患者と接する時間が長いので、患者から在宅医には言いづらい体の不調や悩みを聞くことが多いです。それを在宅医にフィードバックすることで、ケアの質を高めることができます。

――地域包括ケアシステムにおける鍼灸師の役割とは。
瀧澤 西洋医ではカバリーしきれない慢性疾患などを鍼灸がカバーでき、減薬にもつながる可能性があるので医療費の削減も期待できます。

福島に看護師を バスツアーも企画

公益社団法人福島県看護協会(福島県郡山市)主催、NPO法人Udobe(東京都渋谷区)企画制作で、福島県の看護師による「未病」の人にも効果的な治療ができます。今後は予防にお金をかけていく時代がくると思います。そのための高齢者ケアの選択肢の一つとなるため、正しい情報を発信していかなければなりません。

当日は一般社団法人全国訪問看護事業協会の宮崎和加子前事務局長が「医療と福祉をつなぐ架け橋」と題して講演した。現役の看護師に向けて「病院の中にこもっている時代ではなく、生活の場でケアすることも学ばなければいけません。生活援助のプロである介護士と連携し、安心して暮らしていただける地域づくりをすべきです」とエールを送った。

その後、福島県の現役看護師による現状報告がされた。相馬市にある大町病院の藤原珠世看護部長は、看護師は震災前の8割しか確保できていないと述べた上で、「集まらなければ看護師を自分で育てれば良いと考えました。准看護師を看護学校に通わせています」と語った。



▲当日の様子

安心して快適な送迎を実現するための

カーマネージメント

スマイルカーリース(株)アイ・ティ・エス
福祉車両取扱士・車両管理アドバイザー 下澤まみ
営業を始めてわずか1年、女性ならではの視点で介護事業者の悩みを一緒に解決する姿勢が評価され、毎月20台以上の成約実績をあげている。今日も全国を飛び回り、勉強を重ねながら、様々な提案を行っている。



新車は納車まで約3ヵ月

第16回 車の用意は早目に
皆様は新たに車を導入する際、どのくらい前から検討を始めますか。特に新規の営業の場合には、外の業務が非常に忙しく、車のことまではなかなか手が回りませんよね。ですが、車もできるだけ早くから準備を始めた方がよいので、ぜひ一緒に確認してみてください。

通常、新車の福祉車両は、注文から納車までおよそ3ヵ月程の時間がかかります。さらに2〜3ヵ月程かかる場合があります。(新型車は、注文から納車までおよそ3ヵ月程かかる場合があります。)

以前お話ししたように中古車は新車に比べ故障のリスクが高く、整備費用が余分にかかる場合もあります。メリット・デメリットを検討できる余裕を持って車を選ぶようにしましょう。車を導入する際には車庫証明を申請する駐車場を事前に準備しておくこともお忘れな

また、新規開業の認可にあたり、地域によって申請の際にナンバープレートの写真や車検証の提示を求められたりする場合もあります。申請をする地域の手続きの方法や必要な物を事前に確認し、車を導入する計画を立てましょう。

新型車ではない車であれば、メーカーで在庫がひ早くから準備を始めていきましよう。

医療推進討論会
11月23日都内で
公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団(東京都千代田区)は11月23日、東京ビッグサイトで「第12回在宅医療推進フォーラム」を開催する。

当日は全国在宅医療支援診療所連絡会の活動報告のほか、厚生労働省保険局の迫井正深医療課長が「地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進」と題して基調講演をする。参加は事前申し込みで先着順。参加費は無料。

「今後は福島県の美味しい食事を食べ、病院見学を行うバスツアーを10月〜11月に予定しています(中浜理事)」と語った。

食事の提供結構大変ですよ!

マルコシグループならこれを解決します。

献立は、当社グループ 栄養師・調理師等専門スタッフが、高齢者施設、医療機関向けに献立を作成しております。現地調理の場合は、献立を施設様向けに対応することも、可能です。

高齢者施設、医療機関の皆様へ

献立を
考えるのが大変
同じものの
繰り返し……
利用者様から
苦情ありませんか。

調理する人＝
ヘルパーさん
余分な仕事……
時給も……
人件費合理化できます。

調理師さんで味が
変わる。
退職後、補充
するのが大変
求人費も高い
いい人が見つからない。

食事の後
食器を洗うのも大変
水道代・光熱費
結構高い
ですよ。

1)お弁当の場合

- ・そのまま、利用者の方に配膳してください。
- ・味噌汁は、温めて配膳してください。
- ・ご飯は、できれば、お茶碗を使用してください。(当社の容器使用可)
- ・できれば、メインは、温めて配膳すれば、利用者様から喜ばれます。(施設設備必要)
- ・刻み及び禁食対応します。



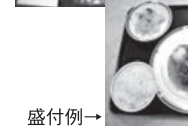
盛付例↑



メイン別→

2)調理品供給の場合 (クックチル・クックサーブ)

- ・ホテルパンもしくは、袋詰めで納品します。温めて(スチームコンベクション等で)配膳。
- ・3食分まとめてお届けすることも可能です。クックチル・サーブの場合は、当社スタッフによる配膳をお勧めします。



盛付例→

3)現地調理の場合

- ・現地にて、専門スタッフが、調理します。
- ・バリエーションに富んだ献立を作成します。



盛付例↑



盛付例↑

詳しくは、担当営業にご連絡下さい

株式会社マルコシ TEL.03-3914-2101
足立区新田2-10-6 担当:金澤 <http://www.marukosi.jp>

株式会社日本医療食研究所 TEL.048-666-1955 FAX.048-666-1879
さいたま市北区東大成町2-250-3 KBLビル3F 担当:岡崎 <http://www.iryoushoku.jp>